

「データを経営に活かすには」

売上や顧客に関する情報など、ビジネスデータは企業が持つ「宝」の一つであり、うまく経営に活用することで、競争力強化や付加価値向上、売上増加につなげている中小企業が数多くあります。本セミナーでは、データを活用した経営に関する先進事例を紹介するとともに、経営者に自らの経験から得られた知見について語っていただきます。

日時 平成28年3月2日(水)
13:30~16:00
会場 福井県国際交流会館2階
第1・2会議室
(福井市宝永3丁目1-1)
対象 企業経営者や従業員(定員50名)
参加費 無料
主催 福井県・福井県統計協会
後援 ふくい産業支援センター



※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。アイドリングストップにご協力ください。
お車でご来場の方は臨時駐車場をご利用ください。

セミナーの内容

「事例から見るデータ利活用のコツ」

株式会社オージス総研ソリューション開発本部データアナリシス部
部長 吉田 隆光 氏

大阪ガスの情報子会社オージス総研が、大阪ガスをはじめ様々な企業におけるデータ活用の実践事例をいくつか紹介しながら、データ利活用の着眼点や進め方のコツをお話しします。



「ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」

旭酒造株式会社 代表取締役社長 桜井 博志 氏

山口の山奥の小さな酒蔵である旭酒造。日本酒「獺祭(だっさい)」が純米大吟醸の販売量で日本一となり、アメリカやヨーロッパなど、世界24の国と地域への輸出拡大を果たした体験、逆境をチャンスに変えて成功した体験談をお話しします。



講師紹介

株式会社オージス総研

ソリューション開発本部データアナリシス部
部長 吉田 隆光 氏

(株)オージス総研は、大阪ガス(株)の100%出資により設立され、大阪ガスの基幹システムの開発は元より、大規模データのシステムの運用やビッグデータの利活用を支援する事業を行っています。データアナリシス部では、大阪ガス(株)のデータ分析のノウハウを引き継ぎ、一般の企業や団体にデータ分析・利活用の技術やノウハウを提供するとともに、ビッグデータ関連のセミナーを数多く開催しています

旭酒造株式会社

代表取締役社長 桜井 博志 氏

旭酒造(株)は、山口県岩国市において、銘酒「獺祭(だっさい)」を製造している酒造メーカー。杜氏のいない体制で純米大吟醸酒の醸造に特化しており、日々の発酵状態のデータを社員が自ら分析しながら醸造管理を行うことで、年間を通じて高品質で安定した酒造りを行っています。日経BP社の「第13回 日本イノベーター大賞」で優秀賞を受賞

お申込み方法

参加ご希望の方は、郵送、FAX またはメールに必要事項を記載のうえお申込みください。メールによりお申込みをされる方は、タイトルを「データ活用セミナー申込み」としてください。ふくe-ねっとからの電子申請でのお申込みも可能です。

お申込み・お問い合わせ先

福井県総合政策部政策統計・情報課 統計分析グループ
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
電話：0776-20-0271 (直通) / FAX：0776-20-0630
電子メール：toukei-jouhou@pref.fukui.lg.jp

データ利活用セミナー参加申込書

ご記入いただきました情報は、本セミナーに関する連絡以外には使用いたしません。

お名前	事業所名	
お名前	電話番号	
お名前	FAX 番号	